



気管支喘息ってなんだろう？

病態・診断編



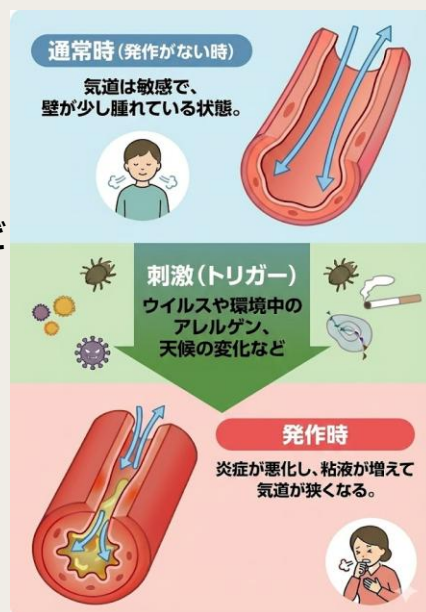
つらい症状でお困りの中、当クリニックにご相談いただきありがとうございます。
こちらの資料では、「喘息ってどういう病気？」、「どういう検査をするの？」などといった疑問を少しでも解消できるように解説しておりますので、是非ご一読ください！

1. 気管支喘息って何？

- 空気の通り道である「気管支」に、**慢性的な（ずっと続く）炎症**が起こり、**せきが止まらなくなったり、呼吸のたびにゼーゼーという音がしたりする**病気です。
- 日本では**子供の8～14%、大人では9～10%**が喘息ともいわれており、高年齢で発症する方も少なからずいらっしゃいます。

2. どういう病気なの？

- 喘息の患者さんの気管支は、普段から刺激に対して敏感になっています。例えるなら、**日焼けしてヒリヒリしている皮膚**のような状態です。
- ここに、**ダニやホコリ、冷たい空気、タバコの煙、風邪などの刺激**が加わると、敏感になった気管支が過剰に反応し、空気の通り道が急激に狭くなってしまいます。
→ これが「**喘息発作**」です。



3. どんな症状が出るの？

- 咳・痰：発作性に咳や痰がみられることがあります。
夜間から明け方にかけてが多いことが特徴です。
- 喘鳴：呼吸をするときに胸から、「ゼーゼー」、「ヒューヒュー」と音がします。
- 息苦しさ：空気が吸いにくい、吐きにくいと感じます。

➡ このような**症状を繰り返したり、3週間以上続く場合**には、**喘息の可能性**があります。

咳が長引くときは、喘息が隠れているかもしれないんだね…。



3. どうやって診断するの？

- 喘息には、**残念ながら明確な診断基準というものはありません。**
- 問診や検査などを通して**総合的に診断**する必要があります。

問診：以下のようなことなどを伺います。

- どんな時に症状が出ますか？
- 家族に喘息やアレルギー体質の方はいますか？
- 子供の頃に喘息と言われたことはありますか？

呼吸機能検査：

- 気管支が狭くなっているかを調べます。



呼気NO検査：

- 気管支にアレルギー性の炎症がどのくらいあるかを調べます。

画像検査：

- 他に咳の原因となる病気が隠れていないか、レントゲンやCT検査で調べます。



血液検査：

- 今後の治療のため、アレルギーの原因などについて調べます。

いろんな検査から
専門的に判断する必要
があるんだね！



長引く咳や息苦しさでお困りの方はお気軽に一度ご相談ください。



気管支喘息ってなんだろう？

病態・診断編



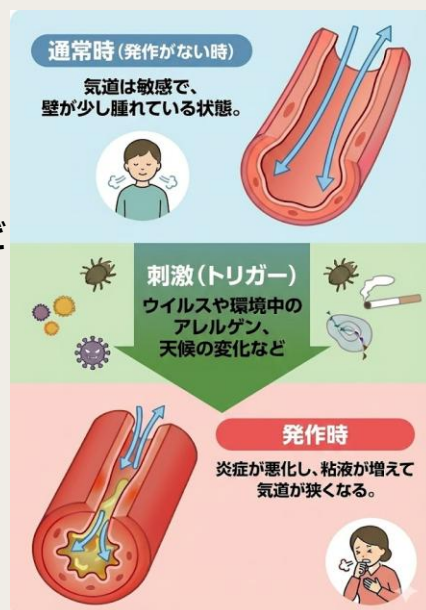
つらい症状でお困りの中、当クリニックにご相談いただきありがとうございます。
こちらの資料では、「喘息ってどういう病気？」、「どういう検査をするの？」などといった疑問を少しでも解消できるように解説しておりますので、是非ご一読ください！

1. 気管支喘息って何？

- 空気の通り道である「気管支」に、**慢性的な（ずっと続く）炎症**が起こり、**せきが止まらなくなったり、呼吸のたびにゼーゼーという音がしたりする**病気です。
- 日本では**子供の8～14%、大人では9～10%**が喘息ともいわれており、高年齢で発症する方も少なからずいらっしゃいます。

2. どういう病気なの？

- 喘息の患者さんの気管支は、普段から刺激に対して敏感になっています。例えるなら、**日焼けしてヒリヒリしている皮膚**のような状態です。
- ここに、**ダニやホコリ、冷たい空気、タバコの煙、風邪などの刺激**が加わると、敏感になった気管支が過剰に反応し、空気の通り道が急激に狭くなってしまいます。
→ これが「**喘息発作**」です。



3. どんな症状が出るの？

- 咳・痰：発作性に咳や痰がみられることがあります。
夜間から明け方にかけてが多いことが特徴です。
- 喘鳴：呼吸をするときに胸から、「ゼーゼー」、「ヒューヒュー」と音がします。
- 息苦しさ：空気が吸いにくい、吐きにくいと感じます。

➡ このような**症状を繰り返したり、3週間以上続く場合**には、**喘息の可能性**があります。
咳が長引くときは、喘息が隠れているかもしれないんだね…。



3. どうやって診断するの？

- 喘息には、**残念ながら明確な診断基準**というものはありません。
- 問診や検査などを通して**総合的に診断**する必要があります。

問診：以下のようなことなどを伺います。

- どんな時に症状が出ますか？
- 家族に喘息やアレルギー体質の方はいますか？
- 子供の頃に喘息と言われたことはありますか？

呼吸機能検査：

- 気管支が狭くなっているかを調べます。



呼気NO検査：

- 気管支にアレルギー性の炎症がどのくらいあるかを調べます。

画像検査：

- 他に咳の原因となる病気が隠れていないか、レントゲンやCT検査で調べます。



血液検査：

- 今後の治療のため、アレルギーの原因などについて調べます。

いろんな検査から
専門的に判断する必要
があるんだね！



長引く咳や息苦しさでお困りの方はお気軽に一度ご相談ください。